

【文芸部誌分科会】に参加の皆さんへ

令和8年度 北海道高等学校文化連盟
第24回全道高等学校文芸研究大会 文芸部誌分科会
担当：佐久間（札幌白陵）佐藤和（函館西）柳田（第一）

- 1 日 時 9月25日（金）分科会Ⅰ 13:00～17:00
9月26日（土）分科会Ⅱ 9:10～12:00
- 2 会 場 室蘭市文化センター（室ガス文化センター）
- 3 講 師 金子 美里（かねこ みさと）氏（フリーライター）
ぶらんとマガジン社で情報誌『H O』などの編集部を経てフリーランスに。
現在は、旅行雑誌や生活情報誌などの記事制作や書籍の編集・校正に携わる。

4 内 容

テーマ 『移動』して『背景』を変える

ぼくが「編集」で気をつけているのは、「そのもの自身はいじらない」ということ。……（中略）…… 素材はいじらずに、背景を変える。編集ってそうあるべきじゃないかなあと、

『編集とは何か。』 取材・構成・文／奥野武範 星海社新書 2022
P184 ケア×編集 白石正明さん

前掲した書物のなかで編集者の白石さんは、「素材はそのまま、自分（あるいは読者）を移動させて背景（視点）を変え、素材の見え方を変える」ことが編集の仕事だと答えています。

今回の文芸部誌分科会では、事前に用意した作品を集めて『背景』（＝見え方、捉え方）が変わるように編集をして一冊の雑誌を作ってもらいます。そのために以下のものを当日までに準備してください。

【事前課題】

『私の好きなもの』

小説・随筆・定型詩など作品の体裁は問いません。過去作、または過去作を推敲し直したもの、新しく作ったものでも、テーマに沿った内容の作品を1つテキストデータにしてお持ちください。

作品に付随する画像、イラストなど文字以外の作品も3点まで持って来て構いません。

集まった作品を編集し「好きなもの」とは違う軸でまとめて読者に届ける雑誌を2日間で完成させ、最後に分科会内で発表をしてもらいます。

限られた時間内ではありますが、模擬編集会議を体験してもらいたいと思います。

【作業フロー】

分科会Ⅰ

- ◎ 班内で編集長、書記、発表者を決定
- ◎ 班内で各自の選んできた作品を読み回す
- ◎ 集まった作品をどのように編集できるか話し合う

分科会Ⅱ

- ◎ 作品を完成させ綴じる
- ◎ 各班、編集方針と完成した冊子について発表する

【冊子の体裁】

- ◎ A 5 または A 4 サイズの冊子
- ◎ ページ数は16 ページ
- ◎ 表紙はフルカラー、本文はモノクロ
- ◎ イラスト、写真は個人所有のものまたはフリー素材。個人所有の場合は要クレジット

5 持ち物

- ◎ 普段、学校などで使用している、クロームブック、iPad、ウィンドーズパソコン、筆記用具。
- ◎ 自校の文芸部が作成した部誌を1 校1 冊。

6 問い合わせ

文芸部誌分科会担当 札幌白陵高等学校 佐久間邦治
〒003-0876 札幌市白石区東米里2062番地10
TEL 011-871-5500
Fax 011-871-5522
Mail sakuma-k@hokkaido-c.ed.jp